

香南市事前復興まちづくり計画について

なぜ「事前」に考えるのか？

南海トラフ地震では、沿岸部を中心に津波による甚大な被害が想定されています。備えのないままでは、復興が「時間との戦い」になってしまいます。

そこで香南市では、復興後のまちの目標や復興の進め方を、平常時である「今」から皆様と共有しておく「事前復興まちづくり計画」をつくりま



発災前（＝今）に考えると

高台移転や道路拡幅など、様々な選択肢を比べられる

住民同士でじっくり話し合える



時間と気持ちにゆとりがある

発災後になってから考えると

混乱の中で急いで決めることになる

生活再建に追われ、話し合う余裕がない



復興が遅れ、地域から人が離れてしまう

南海トラフ地震に対する取組 — 復興へのステップ

南海トラフ地震の発生

命を守る

- 強い揺れに対する備え
- 津波からの避難など



助かった
命をつなぐ

- 避難所の開設と運営
- 外部からの支援の受入など



復興まちづくりについて、
事前に皆様と一緒に考える

生活を
立ち上げる

復興まちづくり

- 安全なまちづくり
- 仮設から恒久的な住まいの確保
- 教育や福祉、暮らしの再建
- なりわいの再生 など

これまでの取組

これからの取組

ワークショップの進め方

地域にお住まいの皆様が主体となって話し合う「住民ワークショップ」を開催します。地域の特性に応じて、復興の方向性を具体的に検討していきます。

地域の現状や課題を共有する



地域の現状や、事前復興について基本的な考え方を一緒に学びます。

課題解決に向けて意見を交わす



地域の課題をどう解決していくか、具体的に意見交換を行います。

復興まちづくりの方向性を検討する



災害を乗り越えた先の、将来のまちの姿や進む方向を話し合います。

計画案をまとめる



各地域のご意見を反映させた事前復興まちづくり計画案を作成します。

皆さんと一緒に考えたいこと

● 将来のまちへの思い

どこに住み、どのように暮らしたいか。皆さんの思いを描きます。



● 今ある課題の解決

「道が狭い」「避難しづらい」を、復興を機に改善します。



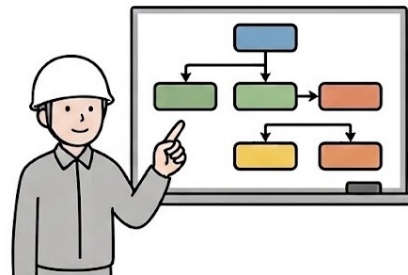
● 未来へつなぐ地域の魅力

自然や祭りなど、守り残したいものを共有します。



● 復興イメージの共有

復興に向けて、住民参加の進め方をイメージします。



ご参加をお待ちしています！

住民の皆様一人ひとりの声が、災害に強く、持続可能な香南市を創ります。

自主防災組織・自治会をはじめ広く皆様のご参加をお待ちしています。ぜひご参加ください。

